

## 令和5年度 白鷺教育会現職（管理職）研修会の開催の報告

現職研修会は、これまで6月の上旬に行っておりましたが、本年度は初めて8月上旬の8月5日（土）に姫路市総合教育センターにおいて、本部と姫路支部との合同開催で以下のように実施しました。

（ご挨拶） 兵庫県教育委員会播磨西教育事務所長 吉田 克也 氏

第1講 9：35～10：35

令和5年度「指導の重点」について

兵庫県教育委員会教育企画課 副課長 村本 由佳 氏

第2講 10：40～11：55

学校運営と経営のあり方について「リーダーの心構え～危機管理を通して～」

関西福祉大学 教授 尼子 尚公 氏

この研修会は、現職の管理職、中堅教員などを対象にします。本年度の参加者は、昨年の34名より若干多い44名で、その内訳は、教諭の方が3名、教頭の方が23名、校長の方が9名、副校長の方が1名、行政（指導主事や係長など）の方が8名です。また、支部ごとの参加者は、神崎支部が3名、北但馬支部が1名でそれ以外は姫路支部でした。

講話内容の概要は以下の通りです。

第1講の村本副課長様の講話では、はじめに、「第3期ひょうご教育創造プラン」の「基本計画」、「実施計画」、「取組状況報告書」の三つの冊子について説明されました。それから、「指導の重点」の各内容について、昨年度と変わった所や重要な所を話してくださいました。全体的に三分の一余りは、昨年度と同じであり、大きな変化がないとのことでした。最後に、新たな教育振興基本計画【概要】（令和5年度～9年度）つまり「4期ひょうご教育創造プラン」の「次期計画のコンセプト」、「今後の教育政策に関する基本的な方針」、「今後の5年間の教育政策の目標と基本施策」などを説明してくださいました。



第2講の尼子 尚公先生の講話では、学校危機・事態の発生の種類や学校が直面する危機の項目別それに学校事故（災害）と責任などの安全配慮義務と注意義務などを説明されました。それから、判例に学ぶということで具体的な事例を挙げて説明していただきながら、特に先生が実際に遭遇し経験された「山岳救助」のことについて、Doctorへり（地元病院）救急車、消防車、防災へりの連絡や要請、学校の職員や保護者への連絡の仕方など生々しい体験を具体的にお話してくださいました。そして、管理職は重職であるので、リーダーの心構えとして、人間力を高め、自ら動くトップセールスマンとして自己的研修や研鑽に励むことを忘れないことが大切であると締めくくられました。

最後に、参加者のアンケートの中の感想の一部を紹介いたします。



### 参加者のアンケートの中の感想例

- ・村本先生には指導の重点を中心にめざすべき姿をととても分かりやすく教えていただき勉強になりました。尼子先生には、いろんな体験をされてことを糧にさわやかに切り切られた人間学を学ばれている器の大きさを感じました。ありがとうございました。（小学校：教頭、50代女性）
- ・今年度の「指導の重点」の細やかな解説だけでなく、第4期プランの基本理念等にもふれられていただき、今後の学校経営やその手助けに大変参考になりました。また、危機管理は日々の生活に直接関係も深く、心を引き締めていかねばと改めて感じました。ありがとうございました。（中学校：教頭、50代男性）